

【熊本 S. J. C. D. 例会 抄録】

演題 「歯根膜の重要性を再認識した 4 症例」

演者名 松下哲也

日付 平成 22 年 7 月 27 日

Key Word

- 1) 歯根膜
- 2) 整復・固定
- 3) 再植・移植

抄録

歯根膜の生物学的特性には、①アタッチメント維持能 ②固有歯槽骨形成能 ③咬合力緩衝能 ④感覚機能がある。歯牙の保存にとっては、すべて重要である。

実際の臨床において、外傷(整復固定)、再植、自家移植、歯周治療、再生療法などは歯根膜が重要な役割を果たす。

今回発表の 4 症例は

① 9 歳 男性 1 | 1 外傷(陥入) 2 年半経過

② 60 歳 女性 3 | 再植 6 年半経過

③ 51 歳 女性 7 | 再植 3 年半経過

④ 34 歳 女性 8 | を 6 | に自家移植 8 年経過

良好な結果が得られた症例ばかりではないが、歯根膜の重要性を認識し、ダメージを最小限にする術式を行えば、整復固定、再植、自家移植は臨床的に有用であることが示唆された。

諸先生方のご意見、ご指導を宜しく申し上げます。